

福井・府中^{ふちゅういしだ}石田遺跡

- 1 所在地 福井県小浜市府中
- 2 発掘期間 二〇〇六年（平18）四月～十二月
- 3 調査機関 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
- 4 調査担当者 青木隆佳・白川 綾・田中祐二
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 弥生時代～中世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(熊川)

府中石田遺跡は、小浜平野を東西に流れる北川と、南東から北西に流れる多田川に挟まれた標高3m前後の低地に立地する。発掘調査は、舞鶴若狭自動車道建設に伴い二〇〇五年から実施している。検出した遺構は、弥生時代の方形周溝墓・住居・掘立柱建物などが中心である。

木簡は、調査区の北端で検出した河川の堆積土上層から三点出土した。河川か

らはなにも出土していない。

8 木簡の釈文・内容

(1) 「ふ中」

・「徳左衛門」

(2) 「南無妙法蓮華經」

(3) 「南無妙法」□□□

76×22×2 011

(180)×37×4 061

(267)×36×5 061

(2)(3)は卒塔婆で、頭部は宝篋印塔を表した形をしている。(2)は下半部を欠損している。(3)は下端付近と頭部右側を欠損しており、中央部付近の両側に切り込みが入る。

なお、釈読にあたっては、福井県立若狭歴史民俗資料館の有馬香織氏のご教示を得た。

(青木隆佳)



(1)